

産業経済委員会

【議案】松浦市森林環境譲与税基金 条例の制定について

森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律の施行により、市が実施する森林の整備及びその促進に関する施策に要する経費の財源として譲与される森林環境譲与税の基金を創設することに伴い本条例を制定するものであり、原案のとおり可決しました。

【議案】令和元年度松浦市一般会計 補正予算（第4号）（関係分）

8月26日から29日にかけての秋雨前線豪雨の影響による災害に対応するため、建設課においては道路10箇所、河川5箇所の用地測量調査設計等委託料1億2612万3千円を含む1億6710万1千円の災害応急対策費が計上されました。併せて、道路4箇所、河川1箇所の被害拡大防止策としての応急工事費として1836万円の公共土木施設災害復旧費が計上され、いずれも災害復旧に必要な予算の補正であると認め、原案のとおり可決しました。

この他に農林課及び地域経済活性化課においても、災害復旧関連の予算が計上され、必要な予算の補正であ

からの助成も継続されます。これらの助成により、子どもの健やかな成長が支援されます。

各委員会の 先進地調査・行政調査

【議会運営委員会】

7月30日から8月1日までの3日間、埼玉県飯能市と愛知県岩倉市へ議会運営委員会6名で先進地調査を行いました。

飯能市議会では、全庁的なペーパーレス化を進める中で東日本大震災が発生し、より経費節減や情報伝達能力を高めようと、迅速にタブレット端末が導入された。それにより議会における紙使用量が年間約10万枚削減、議員への連絡やスケジュールの共有がタブレット上で行えるようになり、事務局の負担も軽減されている。松浦市議会でもタブレット端末の導入について決定したところであり、早期導入に向け取り組みを進めていきたい。

岩倉市議会では、15人の議員のうち13人が出席され、ほぼ全議員で対応していただいた。議会基本条例の制定と検証、議会報告会や意見交換会の実施など、議会改革についての視察を行ったが、議員同士で活発に意見を出し合い、有意義な視察を行うことができた。議会基本条例による取り組みの中で、市内各団体との意見交換会は年間10回程度開催され

ると認め、原案のとおり可決しました。

ており、運営は議員自らで行われている。また議会基本条例の進捗については、毎年検証を行いその結果を市民に公表するなど、より開かれた議会を目指されていた。本市議会でもこれらを大いに参考にし、議会改革に取り組んでいきたい。



【埼玉県飯能市議会】



【愛知県岩倉市議会】

【文教厚生委員会】

○南魚沼市 子ども・若者支援センターの取り組み
子ども・若者支援センターでは、

義務教育期の子どもから39歳の若者まで、当事者・学校・保護者・地域・自治体が一体となり、子ども達をいかに育むか、臨床心理士等専門職員も配置し、熱意を持って長年取り組み続けていた。
特に印象深かったのが、小学校等に設置された、有償ボランティアが活動されている「だんぼの部屋」（だんぼとはゾウの耳を指す）であった。誰でも気軽に立ち寄ることができるよう、小学校の玄関には専用のインターホンが設置されていた。今後、8050問題への支援が求められる中、本市においても縦割りの枠を超えた連携が必要である。



【だんぼの部屋インターホン】



【だんぼの部屋】